

災害に強い橋本市を目指して

地域みんなで災害に立ち向かう

平成は阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震などの地震災害や西日本豪雨、御嶽山の噴火など「災害の時代」といわれるほどの災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。このような災害の教訓から、行政の主導ではなく、住民主体による防災対策への転換が必要であるといわれています。令和となった今、もう一度防災について自らの備えを見直してみませんか。

【危機管理室】



防災対策について発表する中学生
(三石台防災キャンプ)

自助・共助・公助の役割を知って地域の防災力をアップ!

自助・共助・公助の連携

災害発生時は、まず自分や家族の身を守り(自助)、できないことを地域の助け合い(共助)や行政の支援(公助)によって補い合うことが被害拡大の防止につながります。

自助

自分や家族の生命や財産を自分で守ること

- ・ 備蓄品や非常持出品を準備する
- ・ 家族との連絡手段を確保する
- ・ 避難経路や危険箇所を確認する
- ・ 災害に関する情報を得る

共助

地域の人々が互いに助け合って地域を守ること

- ・ 地域住民による救護活動
- ・ 要配慮者の把握や状況確認
- ・ 連携の取り方の話し合い
- ・ 自主防災組織の運営や訓練実施

公助

国・県・市をはじめ警察・消防などが行う応急・復旧対策活動

- ・ 防災情報の公表
- ・ 避難所の飲食料、備品の確保
- ・ 広域的な災害対応体制の整備
- ・ 防災に関する補助金の支給

自分の命は

自分で守る

災害のとき誰が助けてくれるの？

災害発生時、行政は全力で災害対応に取り組み「公助」を行います。災害の規模が大きくなると全ての被害や被災者に対応することが難しくなります。そのようなとき、自分や家族の命を自分たちで守る「自助」や、地域で協力して助け合う「共助」が非常に重要な役割を果たすことになります。

自助って何をすればいいの？

災害が発生した時、まず自分自身や家族の身の安全を第一に考える必要があります。そのためには自宅内はもちろん、自宅が位置する場所やその周辺に危険な箇所がないかをチェックしましょう。その上で、避難所までの避難経路を確認したり、家族や知り合いとの連絡手段を確保したりしておくことが重要です。災害の種類によって必要な対策は異なります。次のような対策を行うことで安全を確保しましょう。

地震に備えて

- ・ 自宅の耐震性を把握し、必要に応じて改修を行う。
- ・ 家具・テレビなどの固定や、ガラスに飛散防止フィルムを貼る。
- ・ 避難時に出入口がふさがれないよう家具の配置を考える。

浸水に備えて

- ・ 家の周りにおける排水溝を清掃するなど排水経路を確保する。
- ・ 土のう袋の作り置きをしておく。
- ・ 土砂災害に備えて山と反対側の2階の部屋で寝るようにする。

共助って何をすればいいの？

自分自身や家族の安全が確認できたら、次は助けが必要な人を地域みんなで助け合うことが非常に重要です。近所の皆さんに声をかけをしたり、一緒に避難をしたり、場合によっては物資の共有や救助そのものを行うことも当てはまります。

そのような取組みを行う団体として自主防災会があります。地域での助け合いをスムーズに行うためにも自主防災会などが実施する防災訓練に参加し、災害時に必要な行動を身につけましょう。

自主防災会



市内各地区には、近隣の皆さんと一緒に防災活動に取り組んでいる「自主防災会」があります。自主防災会では災害時に必要となる資機材の管理や防災訓練の実施など、地域の防災力を向上させるための取組みを行っています。自主防災会の取組み内容については地区ごとに異なりますので、お住まいの地域でご確認ください。

自主防災会の設立を希望される場合は活動などについての補助金がありますので、危機管理室までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

危機管理室 ☎33-16105

避難所に避難するときは

- ・ 拠点避難所の飲料水や非常食などは備蓄数に限りがあります。台風など事前に危険が予測できる場合は、最低でも1日分の飲食物や上履き、寝具、その他ご自身で必要なものをお持ちください。



地域の危険箇所を調べるには？

- ・ 市ホームページで公開している「洪水ハザードマップ」や「土砂災害危険箇所マップ」などで浸水被害や土砂災害の想定地域を確認することができます。

地震への備えに補助はあるの？

- ・ 家具転倒防止金具や地震ブレイカーなどの購入・設置に関する補助金があります。利用には世帯状況などの条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

橋本市自主防災組織連絡協議会の取組み

自主防災会相互の連携を密にし、積極的な防災活動の向上に努め、災害による被害の軽減を図ることを目的に設立されました。

協議会では、市と連携しながら、自主防災大会や研修会・勉強会などを実施し、「災害に強い橋本市を目指して」取り組んでいます。

「防災ファイル・橋本」放送中!

協議会では、各地区自主防災会の活動内容や防災に関する情報を紹介する番組を放送しています。

放送時間

毎週金曜日 午後0時30分～0時45分

放送局

FMはしもと(周波数81.6MHz)

一人一人ができることから

災害はいつ起こるか分かりませんが過去の災害では、地域の取組みが被害を減少させる大きな要因にもなっています。備蓄品の準備や、地区の防災訓練に参加するなど、自分のできることから始めてみましょう。災害が起こってからでは準備することは非常に限られています。備えておけばよかったです後悔しないためにも、日ごろから災害に備えておくことが大切です。